

D-5 古歌碑を訪ねる。



福島縦断歌枕の地と古歌碑を訪ねる旅

古今和歌集成立1100年、新古今和歌集成立800年を経ています。古典文学の良さが評価されている。県内のよく知られた歌枕を現実のその地を訪ねることにより、新しい歌を詠んだり、古典の世界に共感を持つことは、趣味を深めるばかりでなく今を考える上での大切な視点も得られるのではないかと。

提案者 **福島市 渋谷均**

日帰りプラン



白河の関跡(白河市)



安積山公園(郡山市)



奥州安達ヶ原黒塚(二本松市)



文知摺観音(福島市)



白河の関跡
歌枕 白河の関 古歌碑 都をば霞とともに立ちしかど秋風ぞ吹く
白河の関(能因)その他鳥羽院、平兼盛など多数

安積山公園
歌枕 安積山 古歌碑 安積山影さへ身ゆる山の井の浅き心を吾
思はなくに(采女の歌)



文知摺観音
陸奥の忍ぶもち摺誰故に乱れ染めにし我ならなくに
ボランティアガイド付のバスを運行させたり、詠まれた歌を定期的に表彰するなどの仕組みがあれば県外者や個人にも楽しい旅となる。



奥州安達ヶ原黒塚
歌枕 安達原 古歌碑 みちのくの安達の原の黒塚に鬼こもれりと聞くはまことか(平兼盛)

